

ホスピタリティ入試対策講座

志望動機と将来設計、作文、面接への準備

亜細亜大学経営学部

ホスピタリティ・マネジメント学科 那須一貴

今日のポイント

1. 志望動機と将来設計の書き方
2. 作文のポイント
3. 面接に向けた準備

志望動機と将来設計の書き方

私たちが知りたいこと



- 大学に来る目的と大学での目標が明確になっていますか？

目的と目標があいまいだと・・・



- 入学後に目的と目標を見失い、学問への意欲を失う。
- 学問以外のこと(遊び、アルバイト)が中心の生活になる。

目的と目標が明確だと・・・



- 前向きに学問に取り組む。
- 何をすべきかを自分で考えて積極的に行動する。
- 遊びも、アルバイトも、目的をもって取り組むようになる。

充実した大学生活と、大いなる成長を手に入れることができる！

「なりたい将来」から、考えてみよう



「なりたい自分」



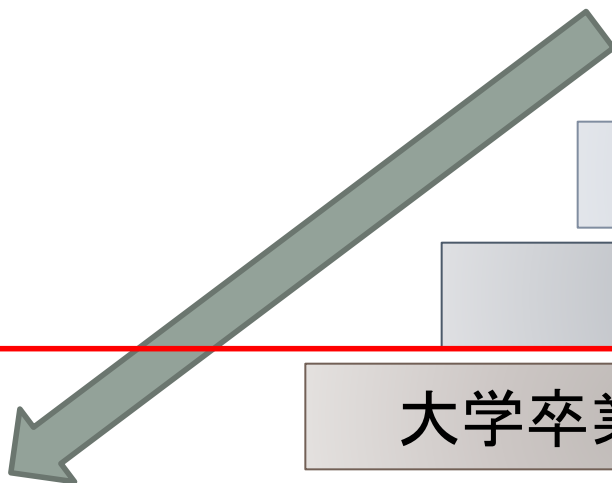
40～45歳の自分

30～35歳の自分

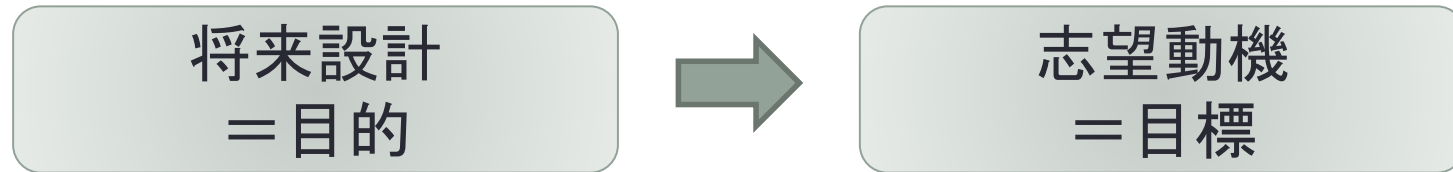
25歳の自分

大学卒業時の自分

現在



志望動機と将来設計の考え方



1. 卒業時の「なりたい自分」を設定する。
2. 「なりたい自分」になるために必要な「知識」と「経験」は何かを考えてみる。
(ここでは、仕事について分析しておくことが必要)
3. 亜細亜大学ホスピ学科のシラバスや大学案内、HPを見て、上記知識と経験をj得るためにどのような科目を履修し、何を学ぶべきかを考える。
4. なぜ亜細亜大学ホスピ学科を志望するのか、将来設計と大学で学びたいことをまとめる。

作文のポイント

作文を書くときの基本的な流れ

意見の主張



根拠（意見の背景にある理由・そこに至った原因など）



結論

作文の体裁について

- 文章の書き方は「です・ます」調よりも、「である」調の方が望ましいです。
- 話の内容が変わるときは文章を改行し(段落をつける)、次の段落の始まりは必ず一文字下げましょう。
- 一つの文章にあまり多くの内容を詰め込まず、適度な長さで文章を切るようにしましょう。文と文をつなぐ接続詞の使い方が重要です。
- 主語、述語、目的語を明確にしましょう。

面接に向けた準備

私たちが面接で知りたいこと

- **大学で学ぶ目的・目標が明確か。**
これはキチンと考えて、強く意識しておきましょう。
- **学ぶことに対する意欲が高いか。**
大学は学びに来るところです。サークルやアルバイトをするために入学するのではありません。
- **積極性があるか。**
積極性とは「元気がある、明るい」ということではありません。
自ら考えて、行動しようという意識を持っているかが大切です。
- **質問に対して答えられるか。**
質問を理解して、キチンと答えられることは、大学での学びの基本です。

面接に向けたアドバイス

- 志望動機と将来設計、大学で学びたいこと、どのように学ぶのか、についても考えておきましょう。
- 高校時代に頑張ったことについて、特に勉強面で頑張ったことを整理しておきましょう。
- 落ち着いて、はっきりと話しましょう。流暢に話す必要はありません。
- 話している途中で分からなくなってしまったら、遠慮なく「もう一度質問をお願いします」と聞いてください。
- 身だしなみはキチンとしましょう。ネクタイ等はキチンと締めておきましょう。面接に相応しい服装、髪型で受験してください。

提出した課題を復習しておこう

ポイント

- 課題の中で、自分が訴えたかったこと。
- 課題を遂行する中で、苦労したこと、工夫したこと。
- 課題の遂行を通じて、学んだこと、成長できたと思うこと。

これらについて質問されたときに、キチンと答えられるようにしておきましょう。

来年の4月に、皆さんとキャンパスでお目にかかることを
楽しみにしております！

亜細亜大学 経営学部 ホスピタリティ・マネジメント学科
教員一同